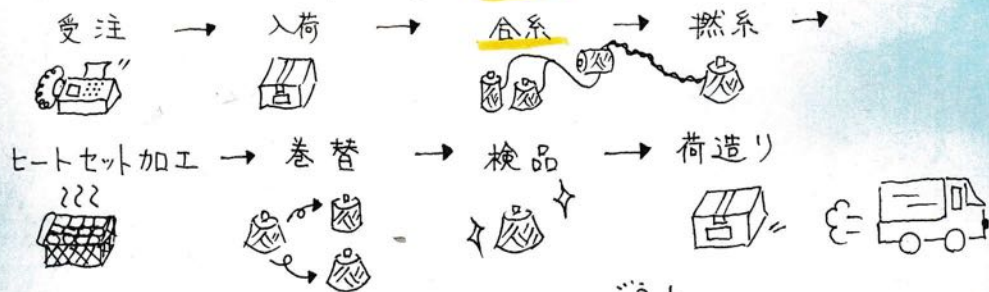


# Binnennews vol.22 2019.5

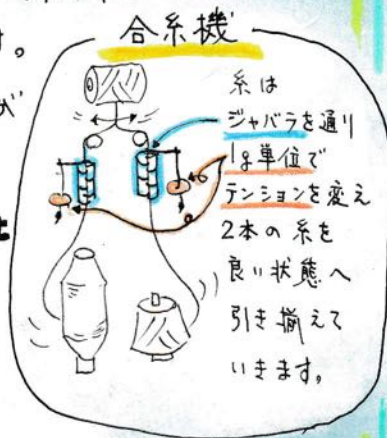
毎月、びんねんニュースを読んで頂きありがとうございます。  
 今回は、vol.20 2019年1月号の合系の話の続きとなります。



2本以上の糸を合わせる(引き揃える) 合系と呼ばれる工程が品質の高い燃系製品を製造するに極めて大切である事は、前回お伝えしました。今回は、もう少し詳しく説明しますね。合系が上手くいっている状態というのは、2本の糸が「バランス良く引き揃っている事」を言います。



同じ素材で同じ番手(太さ)を引き揃えるには、それぞれに同じテンションを掛けてやれば上手く引き揃います。実際に同じ素材で同じ番手を燃系する依頼が一番多いです。



ですが、弊社は、**燃系の面白さを創造する会社**

です。同じ素材、同じ番手の燃系だけでなく、異なる素材で番手も違う糸と糸をバランス良く(仲良く)引き揃え、燃系する事で新たな糸の誕生への貢献度を強めていきます。

短繊維・長繊維を問わず、様々な機能を持った糸が開発されている今だからこそ、それらの糸を組み合わせ、燃系する事で新たな糸の誕生をお手伝いする燃系屋の意義は、大きいと考えています。

たんぽぽは、わた毛になる時には、背がきゅんと伸び、種もより遠くまで飛ばすそうです。私達が手掛ける燃系製品もこのたんぽぽの種のように距離を越えて、多くの方々に使って頂きたいです。

備後燃系株式会社

Tel 084-958-3355 (代表)

Fax 084-958-3358

http: binner-washiito.com/(備和)